

令和3年度 緑南中学校 学校経営の方針

～ 夢を描き 活力とぬくもりのある学校 ～

1 経営にあたって

教育は「夢を実現する人」づくり、生徒の潜在能力を引き出し、その可能性に期待する営みと考える。一人一人の子どものもつ可能性を見つけ、広げるため粘り強く教育実践にあたり、その開花に喜びを感じる教師でありたい。そのため、学校は地域の共有財産であるとの認識を持ち、教師のものさしだけでなく、地域・保護者の見方や考え方、生徒の視点やさまざまな思いを受けとめながら、信頼関係を構築し、豊かな感性に基づいた学びを実践し、教師力を磨いていく必要がある。

また、学校が教育を行う組織体として有効に機能するためには、教職員一人一人が学校経営に参画する意識を持つとともに、協働体制を築くことが必要である。互いのよさや持ち味を出し合い、そして助け合い、切磋琢磨しながら、チームとして躍動する『風通しのよい』組織づくりを大切にしたい。学校は生徒のためにあり、教師は生徒のために絶えず研究・修養に努めるという原点に立ち返って、公教育を担うものとしての責任を自覚し、大きな信頼に応えるために、教育目標の具現化を目指し、「夢を描き 活力とぬくもりのある学校」の創造に努め、誇りをもった教育活動を推進したい。

2 めざす学校の姿

(1) 生徒にとって「絆づくり」の場となる「行きたい」学校

- ① 夢を語り感動を体験する「学びの場」～ともに学ぶ喜びや達成感・自己効力感・自信
- ② 人間的なふれあい～互いに認め合いふれあいを楽しむ場、教師との信頼関係
- ③ 所属感のある学校～母校・学級への誇りとふるさとへの愛着

(2) 家庭、地域にとって信頼と安心感のある「行かせたい」学校

- ① 社会に開かれた謙虚な学校～情報を開き、丁寧に対応することで築く信頼関係
- ② 思いが届き願いに応える～家庭、地域の教育的要求に応える教育実践
- ③ ともに育てる喜び・連帯感～それぞれの役割を担う学校と家庭・地域の連携

(3) 教師にとって教育実践を楽しむ「やりがいのある」学校

- ① 内に開かれた風通しのよい学校～個々の教育実践を開き、連携する協働体制
- ② 責任ある経営参画～存分に力量を発揮する主体性、チーム意識の醸成
- ③ 生徒の「居場所づくり」～生徒の心のよりどころとなる温かい場

3 緑南地区小中学校が目指す子どもの姿（緑南地区学校連携会議より）

(1) 進んで学び、考え・協働し、創造性豊かに学び続ける子ども（知）

- ・ 緑南地区学習のきまり ・ 交流授業 ・ 春休みプリント等

(2) 明るく自信に満ち、思いやりや協力を大切にする子ども（徳）

- ・ 重点項目確認 ・ 評価交流 ・ 授業実践、交流

(3) 生涯にわたって健康や体力に関心を持ち、自ら進んで健康・体力づくりを実践する子ども（体）

- ・ 新体力テスト交流 ・ 授業交流 ・ 体力づくり交流等

4 本年度の重点

○ 夢を描き、夢を語り合い、夢を実現する指導の充実

- ・ 社会で生きる力の育成
- ・ 豊かな人間性と健やかな体の育成
- ・ 学びを支えつなく信頼される学校づくり

(1) 社会で生きる力の育成

① 教育課程の編成・運営の充実

- ・ゆとりのある年間授業時数の確保（年間206日 3年生199日）
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・新学習指導要領完全実施を踏まえ、学校・地域の特色を生かした創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善（学校評価による教育活動の質の向上）

② 組織的な学力の向上

- ・3つの基本（課題の板書、課題と整合性のある展開・終末、指導と評価の一体化）
- ・5つの確認（学習規律、生徒への目配り、教室環境、資料整備、授業の終始時刻）
- ・全国学力・学習状況調査やCRT等の分析結果、「チャレンジテスト」等の有効的な活用
- ・長期休業中・始業前・放課後等の補充的な学習サポートの充実
- ・体験活動や「キャリアパスポート」を活用したキャリア教育の充実
- ・保護者と連携した家庭学習の充実、読書活動の充実（全校一斉朝読書の推進）

③ 研修活動の充実と授業力の向上

- ・教育のプロとしての資質・能力を高める
- ・生徒の実態を踏まえ、年次計画に基づく全校体制による校内研修の推進
- ・学校教育指導訪問の効果的な活用
- ・研究会・研修会・講習会等への積極的な参加と、成果の還元
- ・日常的なICT機器の活用と研修の充実（GIGAスクール構想の実現）

④ 特別支援教育の充実

- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育の「見える化」と推進
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の質的な向上（教師間、校種間の連携や引継ぎの充実）
- ・全教職員による適切な指導や必要な支援の実施と、合理的配慮の提供
- ・学習支援員の効果的な配置と協力体制の構築

(2) 豊かな人間性と健やかな体の育成

① 「考え論議する道徳」を要とした道徳教育の充実

- ・道徳教育推進教師を中心とした指導計画、指導体制の充実
- ・保護者・地域への積極的な授業公開と教職員同士の授業実践、交流による指導力の向上

② いじめやネットトラブル、不登校の未然防止、早期発見・早期解消

- ・いじめは絶対に許さないことを家庭・地域等との共有、連携による指導の徹底
- ・「緑南中学校いじめ防止基本方針」に基づく体制の構築
- ・Q-Uアンケート、いじめアンケート等の有効的な活用
- ・ネットトラブル未然防止の取組の充実（外部講師等の活用）

③ 生徒指導（理解）・教育相談の充実

- ・学校生活全般で生徒の思いを受け止め、生徒とふれあい、寄り添う指導の充実
- ・生徒指導上の諸問題における、丁寧な初期対応と、情報共有によるスピード感のある対処
*報告、連絡、相談、さらに確認
- ・家庭訪問、個人面談等による積極的な保護者との連携、交流

④ 体力・運動能力の向上

- ・体育授業、体育的行事の活用や新体力テスト結果をふまえた体力づくりの奨励
- ・運動習慣の定着による健康・体力増進
- ・活動の継続性を重視し、達成感を味わえる部活動の充実

⑤ 健康・安全教育、食育の充実

- ・食に関する指導の充実（町栄養教諭の活用）
- ・家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の確立（早寝 早起き 朝ごはん 等）
- ・避難訓練（火災・地震・不審者侵入等）を実施し自らの身を守る防災教育の推進
- ・緊急時の「引き渡し」体制の構築

(3) 学びを支えつなく信頼される学校づくり

① 家庭・地域との連携

- ・保護者と連携した家庭学習の充実と、読書活動の奨励（全校一斉朝読書の推進）〈再掲〉
- ・学校便り、学級便り、ホームページ等による積極的な情報発信
- ・学校評価に基づく組織的・継続的な改善と、評価結果の公表
- ・地域の人材、教育資源、外部講師等の積極的な活用
- ・学校評議員会等を活用した、地域の学校への期待や要望の的確な把握

② 校種間連携

- ・緑南地区小中連携による学びをつなぐ取組の推進（体力・心力・学力・特支連携会議）

③ 信頼の基盤となる服務規律の厳正な保持・徹底

- ・教職員による不祥事根絶の取組（情報共有とチェック機能）
 - * 「交通違反・事故」「体罰・不適切な指導」「わいせつ行為」「個人情報流出」の根絶
- ・適切な金銭処理
- ・働き方改革をめざし、部活動休養日や勤務管理の取組を推進